

学校教育目標 夢をもち、共に学び続ける富丘の子

け：げんきな子 や：やさしい子 き：きいて伝える子

**自己調整力とコミュニケーション能力、
やり抜く力、創造性を育む教育の推進**



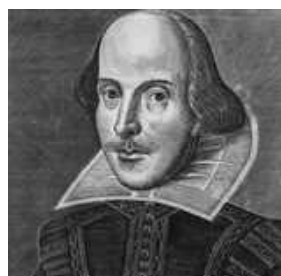
平和であることのありがたさに感謝したい ～ No More Hiroshimas ～

小学校4年生の時、母親に連れられて弟と「はだしのゲン」という映画を見るために、当時富士宮の本町通りにあった映画館に行ったことを今でも覚えています。皆さんの中にも「はだしのゲン」という作品を聞いたことがある人いると思います。広島に住む国民学校2年生の主人公・中岡元（なかおか げん）が、日本と戦争をしていたアメリカ軍により1945年8月6日に落とされた原爆で、父、姉、弟の3人を亡くしてしまいがら、たくましく生きていくという物語でした。この映画を見たとき、この原爆投下によって多くの人が犠牲になり、人々が悲しみにくれたことを知り、戦争というものの恐ろしさを感じたのを覚えています。

5月に広島市でG7サミットが行われ世界のリーダーが集まり会議をしました。そのときリーダーたちが訪れた広島平和記念資料館で、訪れた世界のリーダーたちが記した芳名録の内容がニュースで流されました。私はそれぞれのリーダーがどのようなことを書かれたのかが気になりました。「歴史に残るG7サミットの機会に議長として各国首脳と共に『核兵器のない世界』をめざすためにここに集う」とした日本の岸田首相をはじめ、首脳たち全てが戦争、原爆投下によって起こった人々の悲しみに共感したメッセージを残していました。広島と同じく原爆投下された長崎について書かれた言葉も見られました。その中で、イギリスのスナク首相の言葉が、心に残りました。

イギリス スナク首相：シェイクスピアは、「悲しみを言葉に出せ」と説いている。しかし、原爆の閃光（せんこう）に照らされ、言葉は通じない。広島と長崎の人々の恐怖と苦しみは、どんな言葉を用いても言い表すことができない。しかし、私たちが、心と魂を込めて言えることは、繰り返さないということだ。（原文

Shakespeare tells us to “give sorrow words”. Yet language fails in the light of the bomb's flash. No words can describe the horror and suffering of the people of Hiroshima and Nagasaki. But what we can say, with all our hearts, and all our souls, is no more.）



特に、この中でイギリスの有名な劇作家シェイクスピアの言葉“give sorrow words”「悲しみを言葉に出せ」を引用しながら、本当に悲しいことは言葉に出せないこと、そしてno more（もうこれ以上あってはならない）という言葉です。No more Hiroshimas(広島のような悲劇はもうあってはならない)です。

今、私たちが日本で平和に生活できていることに感謝しなければならないとあらためて感じました。皆さんも保護者や御家族に育ててもらい、地域の方々に支えてもらいながら今無事に毎日を生活できていることが当たり前ではなくありがたい、有難いことだと思います。もちろん、本当に苦しいことがあったら声に出して学校では担任の先生、授業の先生に伝えてください。シェイクスピア さい。しかし、頑張れそうなことは共に精一杯取り組んでいきましょう。

（6月の全校集会から 校長 植松宗一郎）

◎保護者・地域の皆様

おかげさまで、本年度は少し通常の形に戻して全校で集合して運動会「富丘小SPORTS DAY」を実施することができました。練習から当日の開催までの御協力ありがとうございました。今後とも、学校での教育活動に対しまして御理解と御協力をお願いいたします。

夢をもち、共に学び続ける 富丘の子

様々な植物を育てていきます



5月に入り、1年生の教室の前にはアサガオの鉢植えが並びました。すでに発芽してきれいな緑色の芽が出てきています。これは、1年生が自分たちで蒔いたものです。子供たちは、水やりを行い、大きく育つようにしっかり世話を続けています。また、2年生では野菜の苗を植えました。2年生は、成長の様子は、タブレットを活用して画像を撮り、成長の様子を追っていきます。年間を通じて大きく成長する植物の観察を通して様々なことを学んでいくことと思います。1年生のアサガオの花が咲いたり種を取ったり、2年生の野菜を収穫するときの子供たちの笑顔がとても楽しみです。



検診

現在学校では、保護者ボランティアにもお手伝いいただきながら、様々な検診や検査が行われています。最近では国も歯の検診に力を入れているようです。元気に学校生活を送るためにも、これから成長していく子供たちの将来にとっても大切です。治療勧告が届いた場合は早期治療をするようお願いいたします。

3年生の学区探検



3年生が、学区の様子を調べるために自分たちの学校の周りを探検に行きました。地域の畑にはどんな野菜や果物が育てられているのか、どんな施設や遺跡があるのかなど、実際に自分たちの目で見て確認しました。今回の見学を今後の社会やけやき学習で活かしていきます。

富丘小SPORTSDAYに向けて



5月27日（土）に富丘小SPORTSDAYが行われます。5月の初旬から学校では、体育主任を中心に計画を立て、本番までの約1ヶ月間、どの学年も練習に取り組みました。自分たちで目標を立て、練習するのですが、その活動の中で、（学年リレーで勝ちたいからバトンパスの練習をがんばろう）（表現では、みんなで上手に踊りたいからしっかり振り付けを覚えよう）等、子供たちは様々な思いを持っています。目標に向かって取り組む中で、子供たち同士で相談しあったり練習を工夫したりして交流し、励まし合うことで一人一人が大きく成長していきます。クラスのために、自分の目標のためにみんなががんばろうとする姿はとても素敵でした。学校教育目標である「夢をもち、共に学び続ける富丘の子」の姿であると感じます。本番では練習の成果を十分に発揮し、見事に競技や演技をやりきって欲しいと思います。当日の子供たちの様子の活躍の様子については次号にて詳しく紹介します。



委員会活動

～日々の活動から～

富丘小学校には、12の委員会があります。5・6年生は委員会に所属しています。本格的に活動が始まり、自分の役割を意識して学校のために活動へ取り組んでいます。朝、学校を回っていると、6年生が運動場にある大きな石を拾っていました。運動会に向け、怪我をしないように活動してくれていました。様々な規制も緩和され、あいさつ運動や牛乳パック回収など、自分たちの生活をよりよくするための活動を考え、実行して学校を支えてくれています。富丘小が目指す「自己調整力とやり抜く力」を高め、「やさしい子」の育成において、とても大切な活動の一つです。

